



2010年6月22日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
代 表 者 名 社 長 有岡 雅行
コ ー ド 番 号 5214 東証・大証第一部
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 阿閉 正美
TEL 077(537)1700

四半期業績の見込みに関するお知らせ

1. 平成23年3月期 第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日～6月30日)業績見込み

(単位:億円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------|-------------|---------|---------|---------|
| 前回予想(※) | 1,000～1,100 | 360～410 | 340～390 | 210～240 |
| 今回見込み | 1,070 | 430 | 420 | 250 |
| 前年同期実績 | 626 | 103 | 80 | 8 |

※前回予想:平成22年4月27日公表値

<備考>

薄型パネルディスプレイ(FPD)用ガラスの需要増を背景に、第1四半期の業績は前回公表時の見通しを上回るペースで進捗しております。この結果、利益は前回予想レンジの上限を上回るものと見込んでおります。

2. 平成23年3月期 第2四半期(平成22年7月1日～9月30日)の見通し

- ・ FPD用ガラスは、先行きの需要動向に不透明感があるものの、現状では第1四半期を上回る需要を見込んでおります。
- ・ その他の事業分野につきましては、ガラスファイバや電子部品用ガラスなどで引き続き復調を見込んでおりますが、建築用ガラスなどの住宅・建築関連分野については、なお低迷するものと考えております。
- ・ 費用面では、減価償却費などの増加が見込まれますが、稼働の安定や生産性の改善、コスト低減に注力することにより、収益性の向上を図ってまいります。
- ・ 以上の状況を踏まえ、前年同四半期との比較で売上は30%～45%程度の増収を、営業利益は75%～100%程度の増益を見込んでおります。

上記の見通し数値は、現時点での合理的な判断によるものであり、実際の業績はこれらと異なる可能性があります。

以上